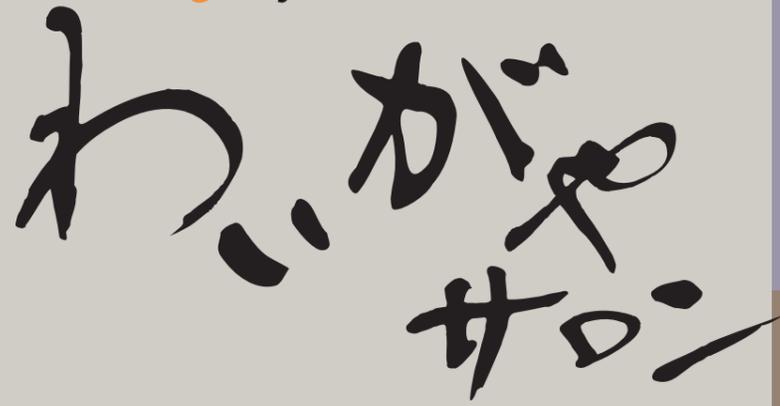


- 第1回/佐倉 一徳さん NHK長野放送局企画総務部副部長 樋口 博さん 長野市産業振興部観光課課長
- 第2回/久米 えみさん ながのクラッセ会長 樋口 敦子さん ながのまちづくりカフェメンバー
- 第3回/鷲沢 幸一さん アスレながの事務局長 室賀 豊さん 長野市アイスホッケー協会理事
- 第4回/清水 隆史さん フォトグラフィアーほか 常盤 昭二さん CMディレクター
- 第5回/虎羽里(トラバリ)ゼーラさん アーユルヴェーダ健康セラピスト
- 第6回/竜野 泰一さん 株式会社エーシーエ設計 取締役副社長【一級建築士】
- 第7回/木田 勇さん 信濃グランセローズ監督
- 第8回/荻原 健司さん 参議院議員・五輪金メダリスト
- 第9回/松島 憲一さん 信州大学大学院農学研究所 准教授
- 第10回/松岡 保正さん 国立長野工業高等専門学校 環境都市工学科教授
- 第11回/浜 このみさん クッキング・コーディネーター
- 第12回/角本 浩二さん バランスアドバイザー 長野県健康管理士会会長
- 第13回/針谷 友久さん 東京中小企業投資育成株式会社 主任(長野県担当)
- 第14回/水野 守也さん 長野市総務部次長 兼庶務課長
- 第15回/バドゥ・ヒエイラ監督、薩川了洋コーチ、貞富信宏キャプテン
- 第16回/町田 良夫さん 社団法人長野市農業公社 常務理事
- 第17回/中山 修さん 中山法律事務所 弁護士
- 第18回/塩澤 研一さん (財)いのちの森文化財団副理事長 株式会社水輪ナチュラルファーム代表取締役
- 第19回/小出 陽子さん (同)ふきっ子的お八起 代表/信州おやきブランド化委員会 研究会リーダー
- 第20回/宮城 恵美子さん (有)宮城商店専務取締役/木の花屋
- 第21回/志村 雅由さん NPO法人 飯綱高原よっころしよ 代表理事
- 第22回/薩川 了洋さん AC長野パルセイロ新監督
- 第23回/石沢 一男さん (有)田舎工房 代表取締役
- 第24回/新谷 志保美さん バンクーバーオリンピック代表 竹村製作所 勤務
- 第25回/越 和宏さん スケルトン競技3大会オリンピック日本代表 システックス所属
- 第26回/鈴木 政一さん 長野パルセイロ・アスレチッククラブ強化本部長
- 第27回/千村 尚司さん 千村ブレイン代表・ソムリエ
- 第28回/川崎 史郎さん フリーライター・市民記者ネット代表
- 第29回/安藤 長一さん 篠ノ井消防署署長、緊急消防援助隊長長野県隊長(第二次派遣隊)
- 第30回/マフソン 青眼さん 俳人・比較文学者
- 第31回/井上 裕子さん 信濃毎日新聞社編集局地域活動部長・編集委員
- 第32回/田幸 淳男さん 信越放送取締役相談役
- 第33回/飯室 織絵さん 観光客向けゲストハウス「1166/バックパッカーズ」運営
- 第34回/相原 哲さん ながの町神輿連合会武蔵会 会頭
- 第35回/小林 亨さん 日本オリンピック委員会(JOC)勤務
- 第36回/薩川 了洋さん AC長野パルセイロ監督
- 第37回/小宮山 義光さん 日本野鳥の会長野支部会員
- 第38回/塩澤 研一さん 農業生産法人株式会社水輪ナチュラルファーム代表取締役/(財)いのちの森文化財団 副代表理事
- 第39回/碓田 達男さん NTT東日本 長野支店長
- 第40回/山田 隆さん しなの鉄道株式会社 専務取締役
- 第41回/藤岡 牧夫さん イラストレーター・絵本作家
- 第42回/矢澤 秀成さん 園芸研究者/ながの花と緑そして人を育てる学校校長
- 第43回/近藤 京子さん カウンセラー/NPO法人「わくわく志事研究所」所長
- 第44回/栗田 貞多男さん 写真家
- 第45回/鴨志田 明弘さん 野村不動産アーバンネット株式会社 企業不動産部専任部長
- 第46回/天野 良彦さん 信州大学工学部物質工学科教授
- 第47回/美濃部 直彦さん AC長野パルセイロ監督
- 第48回/丸田 勉さん 脚本・演出家 森の家 林りん館館長
- 第49回/浅野 邦子さん 株式会社第一 代表取締役会長
- 第50回/平沢 幸子さん 長野朝日放送 アナウンサー

- 第51回/本田 美登里さん AC長野パルセイロ・レディース監督
- 第52回/小田 與之彦さん 株式会社加賀屋 代表取締役社長
- 第53回/廣井 紀文さん 株式会社ディーテス 代表取締役社長
- 第54回/羽生田 豪太さん 株式会社羽生田鉄工所 代表取締役
- 第55回/中島 麻希さん 1級フードアナリスト
- 第56回/齋藤 安彦さん 宮司
- 第57回/屋敷 陽太郎さん NHKチーフプロデューサー
- 第58回/平山 優さん 歴史研究者
- 第59回/西村 知子さん 寺町商家運営アドバイザー
- 第60回/広瀬 毅さん 株式会社CREEKS 広瀬毅建築設計室代表
- 第61回/浅野 哲也さん AC長野パルセイロ監督
- 第62回/中島 恵理さん 長野県副知事
- 第63回/服部 秀人さん 信州・橋の日推進協議会専務理事/エコファーマー
- 第64回/平尾 勇さん 長野県観光機構エグゼクティブ・プロデューサー(前松本市商工観光部長)
- 第65回/野池 裕子さん ダイヤモンド・セルフ長野ファースト 代表・講師
- 第66回/愛甲 宏明さん 炭平コンピューターシステム株式会社 代表取締役社長
- 第67回/坂橋 克明さん フリーパーソナリティー
- 第68回/宮下 秀樹さん 株式会社守谷商会 執行役員、国立長野高専客員教授
- 第69回/金田一 真澄さん 公立大学法人 長野県立大学 学長
- 第70回/笹本 正治さん 長野県立歴史館 館長
- 第71回/山本 克也さん 長野市芸術館 総支配人
- 第72回/AO VIVO(オー・ヴィー・ヴォ):竹内 浩一・中川 雅紀・山極おーじ優子・長谷川 裕晃・中田 寿寛
- 第73回/山浦 直人さん 土木・環境しなの技術支援センター理事、長野県立歴史館客員学芸員
- 第74回/松本 克幸さん 協栄電気興業株式会社 取締役副会長
- 第75回/大室 悦賢さん 長野県立大学グローバルマネジメント学部教授/ソーシャルイノベーション創出センター長
- 第76回/AO VIVO(オー・ヴィー・ヴォ):竹内 浩一・中川 雅紀・山極おーじ優子・長谷川 裕晃・中田 寿寛
- 第77回/水間 源さん 東御市役所 地域おこし協力隊
- 第78回/小澤 吉則さん 一般財団法人 長野経済研究所 理事・調査部長
- 第79回/AO VIVO(オー・ヴィー・ヴォ):竹内 浩一・中川 雅紀・山極おーじ優子・長谷川 裕晃・中田 寿寛
- 第80回/森田 舞さん ゆめサボママ@ながの 共同代表
- 第81回/新井 精一さん 千広建設株式会社代表取締役
- 第82回/竹内 伊吉さん 大成産業株式会社代表取締役社長
- 第83回/AO VIVO(オー・ヴィー・ヴォ):竹内 浩一・中川 雅紀・山極おーじ優子・長谷川 裕晃・中田 寿寛
- 第84回/シュタルフ 悠紀 リヒャルトさん AC長野パルセイロ監督
- 第85回/若林 健太さん 衆議院議員
- 第86回/越原 照夫さん 株式会社まちづくり長野 常務取締役
- 第87回/FT Naked(エフティー・ネイキッド):林 保之・林 栄一・寺沢 雄一郎・中田 寿寛・長谷川 裕晃
- 第88回/荒井 雄彦さん シノラス株式会社 代表取締役
- 第89回/鈴木 隆治さん NUPRI 事務局長/鈴木土地株式会社 代表取締役社長
鷲澤 幸一さん NUPRI 副理事長/炭平コーポレーション株式会社 代表取締役社長



通信

Vol. 90
2023.9



NUPRI
Nagano Urban Policy Research Institute

NPO法人 長野都市経営研究所

〒380-0834
長野市大字鶴賀問御所町1289-1丸本ビル2F
TEL.026-235-7911 FAX.026-235-6166
www.nupri.or.jp
e-mail:nupri@nupri.or.jp

NUPRI
Nagano Urban Policy Research Institute

NPO法人 長野都市経営研究所

第90回

40年間の放送局から異業種へ ~そのベースには、やらまいか魂が~

講師／松坂 彰久 さん 善光寺事務局勤務

■進行:鈴木 隆治 /会場:NUPRI事務所 令和5年9月22日(金) 18:00~20:00

観測史上、最も猛暑が続いた数カ月から一転し爽涼の宵——TV画面を通してお馴染みだった「ブチョー」さんをお迎えし、お話を聞きました。

長年いた放送界から180°の転身

ここにいる皆さんもそうですが、初めて会ったとは思えないお顔で対面してくださるのは長野朝日放送「駅前テレビ」でMCを務めたお陰でしょう。実は2006年、「駅前テレビ」をスタートするにあたりスポンサーにお配りするチラシに私の名は載っていませんでした。目玉として料理研究家・山本麗子さんの出演はOKいただけましたが更にインパクトをというわけで急遽、センセイのお相手に「おじさん(既に裏方・制作部長に回っていた私)」が起用されて14年。番組卒業後も、局を辞して街中を歩いても「ブチョーさん!」と声がかかるんですよ。うれしい限りです。でもボクの本名知らないんだろーなあ(笑)

昨年1月は私が定年退職を迎える誕生日でした。この先、フリーアナでやっていくにしてもコロナ禍が立ち塞がる前年(2022)12月、突然、善光寺から1本の電話が! 広報的な仕事をやってほしいとのことでした。まったく想像だにできなかったオーダーでしたが、即決。そうは言っても電話直後は、やれるだろうか感に陥ったものの、リスクがあっても、やってみようじゃないかと切り替えるのが自分のナライです。

退職して12時間後に飛び込んだ職場は1年延期された御開帳が2カ月後に控えている大変な状況でした。が、先輩諸氏のお陰と前職で培った諸々で無事終了。

私の担当する仕事には許可業務も含まれます。善光寺境内・建物の写真・撮影・イラスト使用許可(国宝=本堂、重文=山門・経蔵の内部は一般の方も撮影禁止)、イベント然り。こちらの5月の「牛に引かれて……」も前もって許可願いを提出してもらいましたよね。(鈴木事務局次長、頷く)

今年4月に起きた賓頭盧尊者木像盗難の際は寺務総長取材の裏方として対応に追われました(無事に戻って本当に良かった!)。こんなトピックスもお伝えしましょう。牧 秀悟選手(中野市出身/DeNA所属)が初詣に訪れたとき、ワタシこと、野球好きなもんですから牧選手のWBC日本代表メンバー内定をキャッチしていたんですね。それで寺(事務局庶務部長)より、日本チームに頑張ってもらいたいと善光寺のお守り「勝守」40体を贈呈。3月、ベスト8あたりからダルビッシュ有選手や佐々木朗希選手らが付けている姿がインターネットで取り上げられるや求める方が殺到、更に世界一になって御利益アリと品切れ完売が続きました。今は土日にお求めいただけます。

3都市での生活を振り返ると

これまでラジオ福島(福島市)・エフエム静岡(静岡市)・長野朝日放送(長野市)で働き、暮らしてきた感想として、あくまで個人の見解ですが、県庁所在地の町の人は概して大人しい。福島県では郡山が元気です。長野県内いろいろな町を歩いてきましたが松本は学生が多く文化発信も活発、諏訪は独特な文化があって祭り好き。南信の人はほのほのしていて我々取材人を温かく迎えてくれました。飯山は厳しい冬を堪えた後に春が来るという点で東北の人の優しさに相通じるような。東北・会津には「会津三泣き」という言葉があるんです。会津若松に転勤辞令が出るとエー?と先ず泣く。赴任中、酒の美味さ・人の優しさに触れては泣く。本社に帰って来いという辞令がおりると帰りたくない泣く。

一方、私の出身地・静岡県には昔から「浜松の「やらまいか」、静岡の「やめまいか」、という言葉があり、浜松の人は考えて悩むより一歩踏み出し、静岡の人は概して慎重・保守的といわれています。*注:静岡県は廃藩置県によって遠江国→浜松県、駿河国→静岡県、伊豆国→足柄県となった後に1県にまとまった経緯がある。



まつざか あきひさ 1957年静岡県浜松市生まれ。大学卒業後、ラジオ福島(1980~)、エフエム静岡(1984~)を経て1991年、長野朝日放送入社。2022年1月末の定年退職後、翌月から善光寺事務局勤務

やらまいか精神(魂)

3県を歩いた来歴を少々——アナウンサーになりたい、野球も大好きだ、というわけで大学時代には千葉県のテレビ局で夏の高校野球、勝利監督への生インタビュー。全くの素人ですよ、よくやったなあと思います。それでも就活は両親の期待に沿うべく地元企業を受けて、内定、していたのですが、同時に憧れのアナウンサーにも内定。アナウンサーを断念すると後悔するだろうと地方企業を蹴って、1980年、行ったこともない福島のラジオ局に入りました。

84年、地元のエフエム静岡に転職。ほとんど音楽が専門の局でしたからスタッフは音楽好きな人ばかり。一方、自分は音楽への興味はさほどなく、読むのはスポーツ新聞ばかり、悪魔が耳で「野球中継やりたいよなあ」と囁くのでした。子どもは5才と3才になり、そろそろ親と一緒に暮らそうかとも思う91年2月、テレビ朝日の友人から「長野にテレビ局ができるけど行かない?」と誘いが来ます。松本出身の妻は静岡の温暖気候を気に入っていて本心は行きたくないけれども、アナタ最近つまらなそう、と。2月といえば新年度のことを考えないといけない時期、グダグダしていたら却って迷惑をかけてしまう……「やらまいか!」の発動です。

長野の新局へ転職する旨を伝えると父と母は絶句! 姉は「長男は親の面倒見るのが当たり前」と絶好状態に。今は関係修復しましたが、浜松は群馬と同じく空っ風が名物で、女性も強いのです。

御開帳の年の開局でした。6月早朝、「シティー オブ ナガノ」(サマランチIOC会長による長野五輪決定のフレーズ)を善光寺境内から熱く中継したことは忘れられません。現在、こうして事務局にいるのですから、善光寺とご縁があったんですかね。

65歳の転身

新型コロナウイルスの流行が幾分下火になってきた2021年夏、長野県カルチャーセンター(信毎・SBC等の文化事業)のチラシが目に入りました。私も一役担えるかもと担当事務所に直談判しましたら、月1で講座を受け持つことに(「松坂ブチョーの『話し方講座』」)。こんな感じで何かに直面するとパッとやっちゃう。普段はおとなしいですけどね(会場:笑)。

同年12月の電話による転身については最初にお話ししましたが、事務局に入ってみたからこそ見聞できること多く、善光寺は摩訶不思議なところだなあと日々実感しています。まだまだわからないことだらけです。と同時にテレビ局での経験が役立ち、改めて、これまで後先・両親・妻子のことより魂の叫び(やらまいか)を優先してきたのは、あながち悪いことばかりではなかったなあと思っています。まあ、いずれにしろ後戻りは出来ませんから。

ダメ元でもやってみよう

生意気ですが、長野に「やらまいか、精神(魂)」はあるでしょうか? 県庁所在地だからなのか善光寺があるからなのか、少し大人し過ぎるような。たとえば今「長野に路面電車を!」と言ったら奇想天外?! とんでもない!? 莫大な資金がいるのは承知ですが、人口がほぼ同じ富山で走っていますし、先日は宇都宮に75年ぶりに次世代路面電車が開通しましたよね。端からヤママイカでなくどうですか?

最後に10月末、4年ぶりに開かれる「善光寺サミット」のPRをさせていただきます。いながらにして全国善光寺会会員寺社の御朱印を受けられますので、ぜひご縁をお結びください。記念講演をどなたにするかという際、WBC日本代表監督を務めた栗山英樹氏の名が上がりました。優勝直後ですから講演依頼の数もスゴイことになっている。とても無理、でもダメ元で電話すると「善光寺なら」と受けていただけ!

皆さん、長野の方々、「やらまいか精神(魂)」で一歩踏み出しましょう。

3年以上ぶりにNUPRI事務所で開かれた「サロン」でした。講師と会員の双方向会話が成り立ち、「やはりココはいいね」という声も聞こえました。



長野朝日放送では開局とともに始まった夕方の報道番組「abnステーション」や高校野球実況中継を担当。「駅前テレビ」は14年間出演した

善光寺サミットのチラシ。栗山英樹氏の講演は「あきらめない生き方」

